

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		県単道路改築事業		路河川名等	(一)八幡小諸線	
事業毎の通番		1	市町村名	小諸市	箇所名(ふりがな)	古城(こじょう)
事業概要	事業目的	当路線は佐久地域と小諸市中心市街地を結ぶ重要路線である。隣接地は懐古園、付近には小諸駅、ホテル等の宿泊施設があり、観光客の利用が車両、歩行者とも非常に多い箇所である。しかし、当該区間は幅員狭小、急カーブ箇所であり歩道も無いため、車両、歩行者とも非常に危険な状態となっている。観光地であり、また、利便性向上のためにも整備が急がれる。本計画の区間は、現在小諸市施行中の懐古園大手門公園整備事業と合わせて施行することにより、地域の観光経済活動活性化に大きく寄与するものである。				
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法	
	関連する事業、計画等	小諸市懐古園施設再整備計画、地域戦略推進型公共事業				
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量:1,913台/日				
	着手年度	平成30年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)
	完成年度(見込み)	平成33年度	費用対効果	2.4	国庫	その他 県債 一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=300m、W=6.0(12.0)m			150,000	135,000 15,000
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の減少				
	間接的効果(定量的・定性的)	観光振興による地域活性化 地域間交流の促進				
評価の視点	必要性	○交通量 : 1,913台/日 ○代替道路の有無 : 安全性の高い代替道路(国道141号)がある ○医療・福祉・教育施設との連携 : なし ○交通結節点アクセス : 小諸駅(JR、しなの鉄道) ○観光振興・地域の活性化 : 観光地(懐古園)の活性化に資する			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 懐古園施設再整備計画、地域戦略推進型公共事業に位置付け ○緊急輸送道路の路線指定 : 緊急時に小諸市の緊急輸送路に指定となる道路(小諸市地域防災計画) ○地域指定 : 佐久地域定住自立圏			評価	A
	効率性	○費用便益比(B/C) : 2.39 ○事業期間 : 4年間 ○工法等の比較検討 : 現場条件を考慮した線形検討、懐古園入口への斜路歩道の構造検討 ○他事業との連携 : 懐古園施設再整備計画、地域戦略推進型公共事業			評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 3件(全て車両相互) ○道路環境改善 : 局所的な渋滞緩和 ○歩道整備 : 懐古園側歩道未整備 ○現況の車道幅員、半径、勾配 : 車道幅員5.2m			評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 地元関係者、市役所に周知(H29.6) ○地域の取り組み : 小諸市地域公共交通協議会により提言あり ○地域の合意形成 : 予備レベルの設計を地権者に提示し、用地提供の基本合意を得ている(H29.6) ○住民との協働 : 周辺住民による懐古園周辺の清掃美化活動			評価	A
	所管課意見	事業の必要性、重要性、効率性、計画の熟度が高いため、平成30年度から事業化したい。			採択状況	総合評価
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。			○		

事業概要説明図表



位置図 平面図

全体計画 L=300m W=6.0(12.0)m

懐古園 小諸駅

事業箇所




標準断面図



12.00m

2.50m 0.50m 3.00m 3.00m 0.50m 2.50m

7.50m

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景

・当路線は佐久地域と小諸市中心市街地を結ぶ重要路線である。また隣接地は懐古園、付近には小諸駅、ホテル等の宿泊施設があり、観光客の利用が車両、歩行者とも非常に多い箇所である。しかし、当該区間は幅員狭小、急カーブ箇所であり歩道も無いため、車両、歩行者とも非常に危険な状態となっている。観光地であり、また、利便性向上のためにも整備が急がれる。

②地域からの要望経緯及び地域の関わり

・以前より小諸市から要望が挙がっているが、地域からの要望を受けて、H27に小諸市より事業要望があり。

③事業説明等の経緯

・H29.6 地元関係者、市役所に周知し、地権者より用地提供の基本合意を得た。

④他事業・プロジェクトとの整合、関連

・小諸市施行中の懐古園施設再整備計画と合わせて施行。  
・地域戦略推進型公共事業(歴史文化と共存した戦略的な街づくり)

⑤自然環境・生活環境への影響と配慮

・小諸市と懐古園に合う景観を協議し、設計に反映。

⑥地域活性化への影響と配慮

・現在小諸市施行中の懐古園施設再整備計画と合わせて施行することにより、地域の観光経済活動活性化に大きく寄与することが期待される。

⑦その他

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 19' 41"
	東経:E 138° 25' 12"